

**【表紙】**

|            |                                 |
|------------|---------------------------------|
| 【提出書類】     | 半期報告書                           |
| 【提出先】      | 福岡財務支局長                         |
| 【提出日】      | 平成27年12月25日                     |
| 【中間会計期間】   | 第55期中（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日） |
| 【会社名】      | 株式会社麻生                          |
| 【英訳名】      | Aso Corporation                 |
| 【代表者の役職氏名】 | 取締役社長 麻生 巖                      |
| 【本店の所在の場所】 | 福岡県飯塚市芳雄町7番18号                  |
| 【電話番号】     | 福岡(0948)(22)3604番               |
| 【事務連絡者氏名】  | 経営支援本部 総務人事部 田上 智徳              |
| 【最寄りの連絡場所】 | 福岡県福岡市早良区百道浜2丁目4番27号            |
| 【電話番号】     | 福岡(092)(832)2011番               |
| 【事務連絡者氏名】  | 経営支援本部 経理財務部 大濱 理               |
| 【縦覧に供する場所】 | 該当事項はありません。                     |

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

## (1) 連結経営指標等

| 回次                              | 第53期中                               | 第54期中                               | 第55期中                               | 第53期                                | 第54期                                |
|---------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 会計期間                            | 自 平成25年<br>4月1日<br>至 平成25年<br>9月30日 | 自 平成26年<br>4月1日<br>至 平成26年<br>9月30日 | 自 平成27年<br>4月1日<br>至 平成27年<br>9月30日 | 自 平成25年<br>4月1日<br>至 平成26年<br>3月31日 | 自 平成26年<br>4月1日<br>至 平成27年<br>3月31日 |
| 売上高 (百万円)                       | 66,513                              | 70,414                              | 70,652                              | 140,189                             | 146,516                             |
| 経常利益 (百万円)                      | 4,997                               | 5,131                               | 5,346                               | 10,224                              | 11,339                              |
| 親会社株主に帰属する中間<br>(当期)純利益 (百万円)   | 1,534                               | 1,778                               | 1,859                               | 3,829                               | 4,751                               |
| 中間包括利益又は包括利益 (百万円)              | 3,237                               | 4,027                               | 3,178                               | 8,158                               | 8,212                               |
| 純資産額 (百万円)                      | 18,543                              | 27,665                              | 34,743                              | 23,717                              | 31,699                              |
| 総資産額 (百万円)                      | 153,892                             | 166,311                             | 174,019                             | 161,381                             | 170,645                             |
| 1株当たり純資産額 (円)                   | 4,487.66                            | 6,258.73                            | 7,882.99                            | 5,501.85                            | 7,272.23                            |
| 1株当たり中間(当期)純<br>利益金額 (円)        | 492.75                              | 571.21                              | 603.24                              | 1,299.73                            | 1,527.55                            |
| 潜在株式調整後1株当たり<br>中間(当期)純利益金額 (円) | -                                   | -                                   | -                                   | -                                   | -                                   |
| 自己資本比率 (%)                      | 9.1                                 | 11.7                                | 14.0                                | 10.6                                | 13.1                                |
| 営業活動によるキャッ<br>シュ・フロー (百万円)      | 3,676                               | 6,665                               | 7,792                               | 10,597                              | 10,069                              |
| 投資活動によるキャッ<br>シュ・フロー (百万円)      | 4,181                               | 445                                 | 5,011                               | 10,729                              | 4,525                               |
| 財務活動によるキャッ<br>シュ・フロー (百万円)      | 6,210                               | 4,150                               | 3,702                               | 1,256                               | 704                                 |
| 現金及び現金同等物の中間<br>期末(期末)残高 (百万円)  | 25,663                              | 31,550                              | 33,880                              | 21,139                              | 27,433                              |
| 従業員数 (人)<br>[外、平均臨時雇用者数]        | 4,585<br>[1,682]                    | 4,640<br>[1,562]                    | 4,680<br>[1,738]                    | 4,416<br>[1,688]                    | 4,568<br>[1,581]                    |

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれていない。

2 潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

3 第54期中間連結会計期間より、従来、「営業外収益」に計上していた駐車場収入の一部について、「売上高」に含めて計上する変更を行ったため、第53期連結会計年度及び第53期中間連結会計期間については組替後の数値を記載している。

4 従業員数は、就業人員数を表示している。

5 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、当中間連結会計期間より、「中間(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する中間(当期)純利益」としている。

(2) 提出会社の経営指標等

| 回次              | 第53期中                               | 第54期中                               | 第55期中                               | 第53期                                | 第54期                                |
|-----------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 会計期間            | 自 平成25年<br>4月1日<br>至 平成25年<br>9月30日 | 自 平成26年<br>4月1日<br>至 平成26年<br>9月30日 | 自 平成27年<br>4月1日<br>至 平成27年<br>9月30日 | 自 平成25年<br>4月1日<br>至 平成26年<br>3月31日 | 自 平成26年<br>4月1日<br>至 平成27年<br>3月31日 |
| 売上高 (百万円)       | 17,571                              | 17,630                              | 18,644                              | 35,863                              | 36,871                              |
| 経常利益 (百万円)      | 232                                 | 20                                  | 109                                 | 944                                 | 863                                 |
| 中間(当期)純利益 (百万円) | 145                                 | 188                                 | 170                                 | 586                                 | 321                                 |
| 資本金 (百万円)       | 3,580                               | 3,580                               | 3,580                               | 3,580                               | 3,580                               |
| 発行済株式総数 (千株)    | 3,210                               | 3,210                               | 3,210                               | 3,210                               | 3,210                               |
| 純資産額 (百万円)      | 8,885                               | 9,816                               | 9,986                               | 9,652                               | 10,005                              |
| 総資産額 (百万円)      | 70,186                              | 80,237                              | 84,610                              | 75,323                              | 80,948                              |
| 1株当たり配当額 (円)    | -                                   | -                                   | -                                   | 25.00                               | 25.00                               |
| 自己資本比率 (%)      | 12.7                                | 12.2                                | 11.8                                | 12.8                                | 12.4                                |
| 従業員数 (人)        | 1,957                               | 2,108                               | 2,172                               | 1,879                               | 2,071                               |
| [外、平均臨時雇用者数]    | [556]                               | [391]                               | [416]                               | [526]                               | [386]                               |

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれていない。

2 第54期中間会計期間より、従来、「営業外収益」に計上していた駐車場収入の一部について、「売上高」に含めて計上する変更を行ったため、第53期事業年度及び第53期中間会計期間については組替後の数値を記載している。

3 第54期中間会計期間より、従来、「営業外収益」に計上していた情報提供料について、「売上原価」から控除して計上する変更を行ったため、第53期事業年度及び第53期中間会計期間については組替後の数値を記載している。

4 従業員数は、就業人員数を表示している。

## 2【事業の内容】

当中間連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はない。また、主要な関係会社についても異動はない。

## 3【関係会社の状況】

当中間連結会計期間において、重要な関係会社の異動はない。

## 4【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成27年9月30日現在

| セグメントの名称 | 従業員数（人）            |
|----------|--------------------|
| セメント事業   | 352<br>[ 40 ]      |
| 医療関連事業   | 2,112<br>[ 307 ]   |
| 商社・流通事業  | 169<br>[ 238 ]     |
| 人材・教育事業  | 779<br>[ 912 ]     |
| 情報・ソフト事業 | 988<br>[ 83 ]      |
| その他事業    | 280<br>[ 158 ]     |
| 合計       | 4,680<br>[ 1,738 ] |

（注） 従業員数は就業人員であり、臨時従業員数は [ ] 内に当中間連結会計期間の平均人員を外数で記載している。

### (2) 提出会社の状況

平成27年9月30日現在

|         |                  |
|---------|------------------|
| 従業員数（人） | 2,172<br>[ 416 ] |
|---------|------------------|

（注） 従業員数は就業人員であり、臨時従業員数は [ ] 内に当中間会計期間の平均人員を外数で記載している。

### (3) 労働組合の状況

労使関係については、特に記載すべき事項はない。

## 第2【事業の状況】

### 1【業績等の概要】

#### (1)業績

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、輸出や生産に弱い動きがみられたものの、企業収益や雇用情勢の改善により穏やかな景気回復が続きました。

当社グループの基幹産業であるセメント業界におきましては、公共工事の減少により、官公需が前年を下回ったこともあり、セメント需要は前年同期に比べ減少いたしました。医療業界におきましては、平成26年4月の実質1.26%の診療報酬改定の影響と消費税増税分の補填財源の基本料への配分により、材料や設備投資負担が比較的大きい大病院において業績が厳しくなっています。

このような情勢の中、当社グループにおきましては、セメント事業において、麻生セメント(株)では、販売エリアの需要が低迷したことに加え、円安による調達コストの負担増加等により厳しい状況が続きました。このような状況の下、代替原料および代替燃料の使用比率上昇に取り組むとともに、販売活動に鋭意注力いたしました。医療関連事業の大きな比重を占める飯塚病院では、患者数は堅調に推移しておりますが、消費税増税に伴うコスト負担等も増加しております。今後も地域における多くの医療ニーズに応え、品質管理活動により、患者の満足度の高い医療サービスを提供していきます。併せて、従業員の労働環境と教育システムの整備・構築を進め、全国から優秀な医療従事者を集め、さらに高い医療レベルを目指すという好循環を図ります。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高は70,652百万円と前年同期に比べ238百万円(+0.3%)の増収となり、営業利益は4,985百万円と前年同期に比べ225百万円(4.3%)の減益、経常利益は5,346百万円と前年同期に比べ214百万円(+4.2%)の増益、親会社株主に帰属する中間純利益は1,859百万円と前年同期に比べ80百万円(+4.6%)の増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### セメント事業

販売圏である東海以西のセメント需要の減少により売上高は17,376百万円と前年同期比376百万円(2.1%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は873百万円と前年同期比357百万円(29.0%)の減益となりました。

#### 医療関連事業

医療事業におきましては、増収対策を図る一方、費用の適正管理に努めた結果、売上高は17,706百万円と前年同期比941百万円(+5.6%)の増収となり、セグメント損失(営業損失)は222百万円(前年同期はセグメント損失352百万円)となりました。

#### 商社・流通事業

売上高は12,363百万円と前年同期比18百万円(+0.1%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は248百万円と前年同期比60百万円(+32.3%)の増益となりました。

#### 人材・教育事業

売上高は8,594百万円と前年同期比358百万円(+4.4%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は207百万円と前年同期比122百万円(37.1%)の減益となりました。

#### 情報・ソフト事業

売上高は12,179百万円と前年同期比436百万円(3.5%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は3,449百万円と前年同期比70百万円(+2.1%)の増益となりました。

#### その他事業

売上高は4,898百万円と前年同期比49百万円(+1.0%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は448百万円と前年同期比1百万円(+0.4%)の増益となりました。

なお、当中間連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、「中間純利益」を「親会社株主に帰属する中間純利益」としております。

## (2) キャッシュ・フロー

### 1. 当中間連結会計期間のキャッシュ・フローの概要説明

当中間連結会計期間のキャッシュ・フローについては、営業活動により7,792百万円増加し、投資活動により5,011百万円減少し、財務活動により3,702百万円増加しております。この結果、現金及び現金同等物は6,447百万円の増加となり、中間期末残高は33,880百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

### 2. 各活動別の説明及び前年同期比

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間は、税金等調整前中間純利益5,391百万円を計上し、前中間連結会計期間と比べ税金等調整前中間純利益が99百万円増加しております。その他、売上債権の減少による収入が前中間連結会計期間と比べ3,363百万円増加しております。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは前中間連結会計期間と比べて1,127百万円（前年同期比16.9%増）の増加となりました。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において、関係会社株式取得による支出が2,636百万円計上されております。その他、有形固定資産の取得に伴う支出が1,511百万円計上されております。

この結果、投資活動によるキャッシュ・フローは前中間連結会計期間と比べて支出が4,566百万円（前年同期比1,024.8%増）の増加となりました。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において、長期借入金11,626百万円を資金調達しております。また、約定弁済により長期借入金が5,606百万円減少しております。その他、短期借入金が1,381百万円減少しております。

この結果、財務活動によるキャッシュ・フローは前中間連結会計期間と比べて447百万円（前年同期比10.8%減）の減少となりました。

## 2【生産、受注及び販売の状況】

### (1) 生産実績

当社グループについては、提供するサービスの性格上、生産実績の記載に馴染まないため、記載していない。

### (2) 受注状況

当社グループについては、受注生産形態をとらない製品が大半であるため、記載していない。

### (3) 販売実績

当中間連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりである。

| セグメントの名称 | 金額(百万円) | 前年同期比(%) |
|----------|---------|----------|
| セメント事業   | 17,313  | 1.7      |
| 医療関連事業   | 17,699  | 5.6      |
| 商社・流通事業  | 11,183  | 1.4      |
| 人材・教育事業  | 8,552   | 4.4      |
| 情報・ソフト事業 | 11,862  | 3.4      |
| その他事業    | 4,042   | 11.0     |
| 合計       | 70,652  | 0.3      |

(注) セグメント間の取引については相殺消去している。  
総販売実績に対し10%以上に該当する販売先はない。

## 3【対処すべき課題】

当中間連結会計期間において、当社グループ(当社及び連結子会社)が対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はない。

## 4【事業等のリスク】

当中間連結会計期間において、当半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はない。

## 5【経営上の重要な契約等】

当中間連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はない。

## 6【研究開発活動】

当社グループ全体の当中間連結会計期間における試験研究費は19百万円であり、各セグメント別の研究目的及び研究開発費は次のとおりである。

### (1) セメント事業

麻生フォームクリート㈱では、原材料である気泡剤の改善・改良、工事施工用機械装置の改良・開発・導入等の研究開発を行っている。

当事業における研究開発費は19百万円である。

### (2) 医療関連事業

該当事項はない。

### (3) 商社・流通事業

該当事項はない。

### (4) 人材・教育事業

該当事項はない。

### (5) 情報・ソフト事業

該当事項はない。

### (6) その他事業

該当事項はない。



## 7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当社グループの中間連結財務諸表は、わが国において一般に公正妥当と認められている会計基準に基づき作成されている。

### (1) 当中間連結会計期間の経営成績の分析

#### 売上高

当中間連結会計期間における売上高は、前中間連結会計期間に比べ238百万円増加し70,652百万円となった。

#### 経常利益

当中間連結会計期間における経常利益は、前中間連結会計期間に比べ214百万円増加し5,346百万円となった。

#### 親会社株主に帰属する中間純利益

当中間連結会計期間における親会社株主に帰属する中間純利益は、前中間連結会計期間に比べ80百万円増加し1,859百万円となった。

### (2) 当中間連結会計期間の財政状態の分析

#### 流動資産

当中間連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,221百万円増加し72,947百万円となった。これは主に、借入による資金調達の結果、現金及び預金が増加したこと等によるものである。

#### 固定資産

当中間連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,142百万円増加し101,040百万円となった。これは主に、投資有価証券の取得により投資その他の資産が増加したこと等によるものである。

#### 流動負債

当中間連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ4,906百万円減少し62,381百万円となった。これは主に、支払手形及び買掛金が減少したこと等によるものである。

#### 固定負債

当中間連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ5,235百万円増加し76,894百万円となった。これは主に、長期借入金が増加したこと等によるものである。

#### 純資産

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ3,043百万円増加し34,743百万円となった。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益1,859百万円を計上し、また、非支配株主持分が増加したこと等によるものである。

### (3) 当中間連結会計期間のキャッシュ・フローの分析

「1 業績等の概要 (2) キャッシュ・フロー」に記載のとおりである。

### 第3【設備の状況】

#### 1【主要な設備の状況】

当中間連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はない。

#### 2【設備の新設、除却等の計画】

当中間連結会計期間において、前連結会計年度末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更並びに重要な設備計画の完了はない。

また、当中間連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はない。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

| 種類   | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 8,800,000   |
| 計    | 8,800,000   |

##### 【発行済株式】

| 種類   | 中間会計期間末現在<br>発行数(株)<br>(平成27年9月30日) | 提出日現在<br>発行数(株)<br>(平成27年12月25日) | 上場金融商品取引所名<br>又は登録認可金融商品<br>取引業協会名 | 内容             |
|------|-------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|----------------|
| 普通株式 | 3,210,000                           | 3,210,000                        | 非上場                                | 単元株式数は100株である。 |
| 計    | 3,210,000                           | 3,210,000                        | -                                  | -              |

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はない。

#### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はない。

#### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はない。

#### (5)【発行済株式総数、資本金等の状況】

| 年月日                      | 発行済株式<br>総数増減数<br>(千株) | 発行済株式<br>総数残高<br>(千株) | 資本金増減額<br>(百万円) | 資本金残高<br>(百万円) | 資本準備金<br>増減額<br>(百万円) | 資本準備金<br>残高<br>(百万円) |
|--------------------------|------------------------|-----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 平成27年4月1日～<br>平成27年9月30日 | -                      | 3,210                 | -               | 3,580          | -                     | 2,499                |

(6)【大株主の状況】

平成27年9月30日現在

| 氏名又は名称           | 住所                 | 所有株式数<br>(千株) | 発行済株式総数<br>に対する所有株式<br>数の割合<br>(%) |
|------------------|--------------------|---------------|------------------------------------|
| 学校法人麻生塾          | 福岡県飯塚市芳雄町3番83号     | 758.1         | 23.62                              |
| 麻生 泰             | 福岡県飯塚市             | 166.0         | 5.17                               |
| みずほ信託銀行株式会社(信託口) | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号   | 154.3         | 4.81                               |
| 株式会社三井住友銀行       | 東京都千代田区丸の内一丁目1番2号  | 130.0         | 4.05                               |
| 株式会社福岡銀行         | 福岡市中央区天神二丁目13番1号   | 130.0         | 4.05                               |
| 株式会社西日本シティ銀行     | 福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号  | 130.0         | 4.05                               |
| 麻生 巖             | 福岡県飯塚市             | 123.2         | 3.84                               |
| 株式会社小澤           | 和歌山県和歌山市宇須二丁目3番39号 | 105.0         | 3.27                               |
| 麻生 健             | 東京都渋谷区             | 100.7         | 3.14                               |
| 麻生興産株式会社         | 福岡市早良区百道浜二丁目4番27号  | 97.0          | 3.02                               |
| 計                | -                  | 1,894.4       | 59.02                              |

(注) 1. 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は次のとおりである。

みずほ信託銀行株式会社 154.3千株

2. 上記のほか、当社所有の自己株式102.1千株(3.18%)がある。

(7)【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成27年9月30日現在

| 区分             | 株式数(株)                   | 議決権の数(個) | 内容             |
|----------------|--------------------------|----------|----------------|
| 無議決権株式         | -                        | -        | -              |
| 議決権制限株式(自己株式等) | -                        | -        | -              |
| 議決権制限株式(その他)   | -                        | -        | -              |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式)<br>普通株式 102,100 | -        | -              |
| 完全議決権株式(その他)   | 普通株式 3,061,400           | 30,614   | -              |
| 単元未満株式         | 普通株式 46,500              | -        | 1単元(100株)未満の株式 |
| 発行済株式総数        | 3,210,000                | -        | -              |
| 総株主の議決権        | -                        | 30,614   | -              |

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式75株が含まれている。

【自己株式等】

平成27年9月30日現在

| 所有者の氏名<br>又は名称     | 所有者の住所             | 自己名義<br>所有株式数<br>(株) | 他人名義<br>所有株式数<br>(株) | 所有株式数<br>の合計<br>(株) | 発行済株式<br>総数に対する<br>所有株式数<br>の割合(%) |
|--------------------|--------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式)<br>株式会社麻生 | 福岡県飯塚市芳雄町<br>7番18号 | 102,100              | -                    | 102,100             | 3.18                               |
| 計                  | -                  | 102,100              | -                    | 102,100             | 3.18                               |

2【株価の推移】

当社の株式は非上場・非登録につき、該当がない。

3【役員の様況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はない。

## 第5【経理の状況】

### 1 中間連結財務諸表及び中間財務諸表の作成方法について

(1) 当社の中間連結財務諸表は「中間連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成11年大蔵省令第24号）に基づいて作成している。

(2) 当社の中間財務諸表は「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）に基づいて作成している。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、中間連結会計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）及び中間会計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）の中間連結財務諸表及び中間財務諸表について、新日本有限責任監査法人による中間監査を受けている。

## 1【中間連結財務諸表等】

## (1)【中間連結財務諸表】

## 【中間連結貸借対照表】

(単位：百万円)

|                 | 前連結会計年度<br>(平成27年3月31日) | 当中間連結会計期間<br>(平成27年9月30日) |
|-----------------|-------------------------|---------------------------|
| <b>資産の部</b>     |                         |                           |
| <b>流動資産</b>     |                         |                           |
| 現金及び預金          | 2 28,332                | 2 34,810                  |
| 受取手形及び売掛金       | 28,076                  | 21,111                    |
| たな卸資産           | 2 6,764                 | 2 7,221                   |
| 繰延税金資産          | 1,110                   | 1,138                     |
| その他             | 5, 6 6,723              | 5, 6 8,959                |
| 貸倒引当金           | 281                     | 293                       |
| 流動資産合計          | 70,726                  | 72,947                    |
| <b>固定資産</b>     |                         |                           |
| <b>有形固定資産</b>   |                         |                           |
| 建物及び構築物（純額）     | 1, 2 23,530             | 1, 2 23,140               |
| 機械装置及び運搬具（純額）   | 1, 2 5,346              | 1, 2 5,738                |
| 土地              | 2 26,395                | 2 26,432                  |
| リース資産（純額）       | 1 1,593                 | 1 1,349                   |
| 建設仮勘定           | 454                     | 43                        |
| その他（純額）         | 1, 2 3,024              | 1, 2 3,000                |
| 有形固定資産合計        | 60,344                  | 59,705                    |
| <b>無形固定資産</b>   |                         |                           |
| のれん             | 5,426                   | 4,900                     |
| その他             | 2 1,738                 | 2 1,444                   |
| 無形固定資産合計        | 7,164                   | 6,344                     |
| <b>投資その他の資産</b> |                         |                           |
| 投資有価証券          | 2 17,912                | 2 21,100                  |
| 長期貸付金           | 2,471                   | 1,885                     |
| 繰延税金資産          | 3,182                   | 3,151                     |
| その他             | 2 10,549                | 2 10,302                  |
| 貸倒引当金           | 1,725                   | 1,448                     |
| 投資その他の資産合計      | 32,389                  | 34,990                    |
| 固定資産合計          | 99,898                  | 101,040                   |
| 繰延資産            | 21                      | 30                        |
| 資産合計            | 170,645                 | 174,019                   |

(単位：百万円)

|               | 前連結会計年度<br>(平成27年3月31日) | 当中間連結会計期間<br>(平成27年9月30日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| <b>負債の部</b>   |                         |                           |
| 流動負債          |                         |                           |
| 支払手形及び買掛金     | 2 20,427                | 2 17,373                  |
| 短期借入金         | 2 16,627                | 2 15,244                  |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2 11,864                | 2 12,484                  |
| 1年内償還予定の社債    | 2 504                   | 2 210                     |
| リース債務         | 493                     | 413                       |
| 未払法人税等        | 2,033                   | 2,083                     |
| 繰延税金負債        | 22                      | 2                         |
| 賞与引当金         | 2,450                   | 2,573                     |
| 品質補償損失引当金     | 16                      | 16                        |
| その他           | 2 12,848                | 2 11,977                  |
| 流動負債合計        | 67,287                  | 62,381                    |
| 固定負債          |                         |                           |
| 社債            | 2 438                   | 2 332                     |
| 長期借入金         | 2 50,706                | 2 56,106                  |
| リース債務         | 1,282                   | 1,074                     |
| 繰延税金負債        | 148                     | 140                       |
| 再評価に係る繰延税金負債  | 1,527                   | 1,527                     |
| 退職給付に係る負債     | 10,729                  | 10,969                    |
| 役員退職慰労引当金     | 887                     | 903                       |
| その他           | 5,939                   | 5,839                     |
| 固定負債合計        | 71,658                  | 76,894                    |
| 負債合計          | 138,946                 | 139,275                   |
| <b>純資産の部</b>  |                         |                           |
| 株主資本          |                         |                           |
| 資本金           | 3,580                   | 3,580                     |
| 資本剰余金         | 2,740                   | 2,740                     |
| 利益剰余金         | 12,668                  | 14,449                    |
| 自己株式          | 220                     | 222                       |
| 株主資本合計        | 18,768                  | 20,548                    |
| その他の包括利益累計額   |                         |                           |
| その他有価証券評価差額金  | 1,109                   | 989                       |
| 繰延ヘッジ損益       | 27                      | 23                        |
| 土地再評価差額金      | 608                     | 608                       |
| 為替換算調整勘定      | 2,276                   | 2,572                     |
| 退職給付に係る調整累計額  | 321                     | 401                       |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,644                   | 3,744                     |
| 非支配株主持分       | 9,286                   | 10,450                    |
| 純資産合計         | 31,699                  | 34,743                    |
| 負債純資産合計       | 170,645                 | 174,019                   |



## 【中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書】

## 【中間連結損益計算書】

(単位：百万円)

|                 | 前中間連結会計期間<br>(自 平成26年4月1日<br>至 平成26年9月30日) | 当中間連結会計期間<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成27年9月30日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高             | 70,414                                     | 70,652                                     |
| 売上原価            | 55,150                                     | 55,299                                     |
| 売上総利益           | 15,264                                     | 15,353                                     |
| 販売費及び一般管理費      | 1 10,053                                   | 1 10,368                                   |
| 営業利益            | 5,210                                      | 4,985                                      |
| 営業外収益           |  |  |
| 受取利息            | 171  | 394  |
| 受取配当金           | 115  | 30   |
| 受取賃貸料           | 31   | 31   |
| 持分法による投資利益      | 2  | 524  |
| デリバティブ評価益       | 80   | -  |
| その他             | 358  | 199  |
| 営業外収益合計         | 760  | 1,181                                      |
| 営業外費用           |  |  |
| 支払利息            | 657  | 596  |
| その他             | 182  | 223  |
| 営業外費用合計         | 839  | 819  |
| 経常利益            | 5,131                                      | 5,346                                      |
| 特別利益            |  |  |
| 固定資産売却益         | 2 210                                      | 2 9  |
| 投資有価証券売却益       | 169  | 59   |
| 特別利益合計          | 380  | 68   |
| 特別損失            |  |  |
| 固定資産除売却損        | 3 12                                       | 3 22                                       |
| 減損損失            | 4 85                                       | -  |
| 投資有価証券評価損       | 2  | 1  |
| 災害による損失         | 119  | -  |
| 特別損失合計          | 220  | 23   |
| 税金等調整前中間純利益     | 5,291                                      | 5,391                                      |
| 法人税、住民税及び事業税    | 1,827                                      | 2,080                                      |
| 法人税等調整額         | 179  | 113  |
| 法人税等合計          | 2,006                                      | 2,193                                      |
| 中間純利益           | 3,285                                      | 3,197                                      |
| 非支配株主に帰属する中間純利益 | 1,506                                      | 1,338                                      |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 1,778                                      | 1,859                                      |

【中間連結包括利益計算書】

(単位：百万円)

|                  | 前中間連結会計期間<br>(自 平成26年4月1日<br>至 平成26年9月30日) | 当中間連結会計期間<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成27年9月30日) |
|------------------|--|--|
| 中間純利益            | 3,285                                      | 3,197                                      |
| その他の包括利益         |  |  |
| その他有価証券評価差額金     | 81   | 118  |
| 繰延ヘッジ損益          | 10   | 4  |
| 為替換算調整勘定         | 484  | 302  |
| 退職給付に係る調整額       | 180  | 179  |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 7  | 28   |
| その他の包括利益合計       | 742  | 18   |
| 中間包括利益           | 4,027                                      | 3,178                                      |
| (内訳)             |  |  |
| 親会社株主に係る中間包括利益   | 2,411                                      | 1,958                                      |
| 非支配株主に係る中間包括利益   | 1,616                                      | 1,219                                      |

【中間連結株主資本等変動計算書】

前中間連結会計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

(単位：百万円)

|                       | 株主資本  |       |       |      |        |
|-----------------------|-------|-------|-------|------|--------|
|                       | 資本金   | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高                 | 3,580 | 2,740 | 7,933 | 173  | 14,080 |
| 会計方針の変更による累積的影響額      |       |       | 19    |      | 19     |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高     | 3,580 | 2,740 | 7,952 | 173  | 14,100 |
| 当中間期変動額               |       |       |       |      |        |
| 剰余金の配当                |       |       | 78    |      | 78     |
| 親会社株主に帰属する中間純利益       |       |       | 1,778 |      | 1,778  |
| 自己株式の取得               |       |       |       | 3    | 3      |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額） |       |       |       |      |        |
| 当中間期変動額合計             | -     | -     | 1,699 | 3    | 1,696  |
| 当中間期末残高               | 3,580 | 2,740 | 9,652 | 176  | 15,796 |

|                       | その他の包括利益累計額  |         |          |          |              |               | 非支配株主持分 | 純資産合計  |
|-----------------------|--------------|---------|----------|----------|--------------|---------------|---------|--------|
|                       | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 土地再評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 |         |        |
| 当期首残高                 | 852          | 12      | 622      | 1,827    | 263          | 3,051         | 6,584   | 23,717 |
| 会計方針の変更による累積的影響額      |              |         |          |          |              |               | 30      | 49     |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高     | 852          | 12      | 622      | 1,827    | 263          | 3,051         | 6,615   | 23,767 |
| 当中間期変動額               |              |         |          |          |              |               |         |        |
| 剰余金の配当                |              |         |          |          |              |               |         | 78     |
| 親会社株主に帰属する中間純利益       |              |         |          |          |              |               |         | 1,778  |
| 自己株式の取得               |              |         |          |          |              |               |         | 3      |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額） | 92           | 10      | -        | 464      | 85           | 633           | 1,568   | 2,201  |
| 当中間期変動額合計             | 92           | 10      | -        | 464      | 85           | 633           | 1,568   | 3,898  |
| 当中間期末残高               | 945          | 2       | 622      | 2,292    | 177          | 3,684         | 8,183   | 27,665 |

当中間連結会計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

(単位：百万円)

|                       | 株主資本  |       |        |      |        |
|-----------------------|-------|-------|--------|------|--------|
|                       | 資本金   | 資本剰余金 | 利益剰余金  | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高                 | 3,580 | 2,740 | 12,668 | 220  | 18,768 |
| 当中間期変動額               |       |       |        |      |        |
| 剰余金の配当                |       |       | 77     |      | 77     |
| 親会社株主に帰属する中間純利益       |       |       | 1,859  |      | 1,859  |
| 自己株式の取得               |       |       |        | 1    | 1      |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額） |       |       |        |      |        |
| 当中間期変動額合計             | -     | -     | 1,781  | 1    | 1,779  |
| 当中間期末残高               | 3,580 | 2,740 | 14,449 | 222  | 20,548 |

|                       | その他の包括利益累計額  |         |          |          |              |               | 非支配株主持分 | 純資産合計  |
|-----------------------|--------------|---------|----------|----------|--------------|---------------|---------|--------|
|                       | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 土地再評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 |         |        |
| 当期首残高                 | 1,109        | 27      | 608      | 2,276    | 321          | 3,644         | 9,286   | 31,699 |
| 当中間期変動額               |              |         |          |          |              |               |         |        |
| 剰余金の配当                |              |         |          |          |              |               |         | 77     |
| 親会社株主に帰属する中間純利益       |              |         |          |          |              |               |         | 1,859  |
| 自己株式の取得               |              |         |          |          |              |               |         | 1      |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額） | 120          | 4       | -        | 295      | 79           | 99            | 1,164   | 1,264  |
| 当中間期変動額合計             | 120          | 4       | -        | 295      | 79           | 99            | 1,164   | 3,043  |
| 当中間期末残高               | 989          | 23      | 608      | 2,572    | 401          | 3,744         | 10,450  | 34,743 |

## 【中間連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

|                         | 前中間連結会計期間<br>(自 平成26年4月1日<br>至 平成26年9月30日) | 当中間連結会計期間<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成27年9月30日) |
|-------------------------|--|--|
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b> |  |  |
| 税金等調整前中間純利益             | 5,291                                      | 5,391                                      |
| 減価償却費                   | 2,609                                      | 2,559                                      |
| 減損損失                    | 85   | -  |
| 貸倒引当金の増減額（は減少）          | 216  | 264  |
| 賞与引当金の増減額（は減少）          | 137  | 123  |
| 退職給付に係る負債の増減額（は減少）      | 122  | 161  |
| 役員退職慰労引当金の増減額（は減少）      | 3  | 16   |
| 受取利息及び受取配当金             | 287  | 425  |
| 支払利息                    | 657  | 596  |
| のれん償却額                  | 578  | 526  |
| 持分法による投資損益（は益）          | 2  | 524  |
| 固定資産除売却損益（は益）           | 197  | 12   |
| 投資有価証券売却損益（は益）          | 169  | 59   |
| 投資有価証券評価損益（は益）          | 2  | 1  |
| 売上債権の増減額（は増加）           | 3,943                                      | 7,306                                      |
| たな卸資産の増減額（は増加）          | 457  | 457  |
| 仕入債務の増減額（は減少）           | 2,392                                      | 3,047                                      |
| その他の流動資産の増減額（は増加）       | 452  | 776  |
| その他                     | 112  | 946  |
| 小計                      | 9,117                                      | 10,194                                     |
| 利息及び配当金の受取額             | 178  | 221  |
| 利息の支払額                  | 659  | 591  |
| 法人税等の支払額                | 1,971                                      | 2,032                                      |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー        | 6,665                                      | 7,792                                      |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b> |  |  |
| 定期預金の純増減額（は増加）          | 43   | 30   |
| 短期貸付金の純増減額（は増加）         | 29   | 371  |
| 有形固定資産の取得による支出          | 2,210                                      | 1,511                                      |
| 有形固定資産の売却による収入          | 608  | 35   |
| 無形固定資産の取得による支出          | 103  | 76   |
| 投資有価証券の取得による支出          | 771  | 575  |
| 投資有価証券の売却による収入          | 1,533                                      | 484  |
| 出資金の売却による収入             | 61   | 0  |
| 関係会社株式の取得による支出          | -  | 2,636                                      |
| 長期貸付けによる支出              | 55   | 453  |
| 長期貸付金の回収による収入           | 448  | 56   |
| その他                     | 30   | 68   |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー        | 445  | 5,011                                      |

(単位：百万円)

|                         | 前中間連結会計期間<br>(自 平成26年4月1日<br>至 平成26年9月30日) | 当中間連結会計期間<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成27年9月30日) |
|-------------------------|--|--|
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b> |  |  |
| 短期借入金の純増減額（は減少）         | 2,737                                      | 1,381                                      |
| 長期借入れによる収入              | 7,709                                      | 11,626                                     |
| 長期借入金の返済による支出           | 5,362                                      | 5,606                                      |
| 社債の償還による支出              | 558  | 399  |
| リース債務の返済による支出           | 232  | 328  |
| 自己株式の取得による支出            | 3  | 43   |
| 配当金の支払額                 | 78   | 79   |
| 非支配株主への配当金の支払額          | 59   | 85   |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー        | 4,150                                      | 3,702                                      |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額        | 40   | 35   |
| 現金及び現金同等物の増減額（は減少）      | 10,410                                     | 6,447                                      |
| 現金及び現金同等物の期首残高          | 21,139                                     | 27,433                                     |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高        | 31,550                                     | 33,880                                     |

【注記事項】

(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 59社

主要な連結子会社の名称

麻生セメント(株)、麻生商事(株)、麻生鉱山(株)、麻生フォームクリート(株)、麻生介護サービス(株)、麻生芳雄商事(株)、(株)麻生情報システム、(株)アソウ・ヒューマニーセンター、(株)麻生地所、麻生メディカルサービス(株)、(株)ぎょうせい、(株)プラネットホールディングス、ASO FAL UK Ltd.

(2) 主要な非連結子会社の名称等

すべての子会社を連結している。

(3) 連結の範囲の変更

非連結子会社であった徳和産業(株)は、重要性が増したため、連結の範囲に含めた。

2 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法適用の関連会社数 15社

主要な会社名

日特建設(株)、(株)システムプラネット

(2) 持分法を適用していない関連会社(株)麻生西日本新聞TNC文化サークル、九州農水産物直販(株)は、中間純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等からみて、持分法の対象から除いても中間連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため、持分法の適用範囲から除外した。

(3) 持分法適用会社のうち、中間決算日が中間連結決算日と異なる会社については、各社の中間会計期間に係る中間財務諸表を使用している。

3 連結子会社の中間決算日等に関する事項

連結子会社のうち、麻生セメント(株)他5社の中間決算日は6月30日であり、中間連結財務諸表の作成にあたっては、同日現在の財務諸表を使用し、中間連結決算日までの間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っている。

また、(株)ぎょうせい他6社の中間決算日は3月31日であり、デジタル(株)の中間決算日は1月31日であるが、中間連結財務諸表の作成にあたっては、中間連結決算日現在で実施した仮決算に基づく中間財務諸表を使用している。

4 会計方針に関する事項

(イ) 重要な資産の評価基準及び評価方法

有価証券

その他有価証券

時価のあるもの

中間決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は主として移動平均法により算定)

時価のないもの

主として移動平均法による原価法

デリバティブ

時価法

たな卸資産

主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法)によっているが、販売用不動産については個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法)、一部の小売業の商品については売価還元法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法)を採用している。

(ロ) 重要な減価償却資産の減価償却方法

有形固定資産（リース資産を除く）

当社及び一部の連結子会社は定額法を、その他の会社は定率法を採用している。

なお、主な耐用年数は以下のとおりである。

建物及び構築物 3～60年

機械装置及び運搬具 6～18年

無形固定資産（鉱業権及びリース資産を除く）

定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいている。

鉱業権

生産高比例法

リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(ハ) 重要な引当金の計上基準

貸倒引当金

売掛金、貸付金等の債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。

賞与引当金

従業員賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当中間連結会計期間の負担額を計上している。

品質補償損失引当金

製品の品質問題による損失に備えるため、当中間連結会計期間末における調査費用、原状回復工事費用等の支払見込み額を計上している。

役員退職慰労引当金

親会社及び連結子会社17社は、役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく中間期末要支給額を計上している。

(二) 退職給付に係る会計処理の方法

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当連結会計年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっている。

数理計算上の差異の費用処理方法

数理計算上の差異は、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（5年及び10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌連結会計年度から損益処理している。

(ホ) 重要な収益及び費用の計上基準

完成工事高及び完成工事原価の計上基準

一部の連結子会社において、当中間連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積もりは原価比例法）を、その他の工事については、工事完成基準を適用している。

(ヘ) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、中間連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理している。なお、在外子会社等の資産及び負債は、中間決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定及び非支配株主持分に含めている。



(ト)重要なヘッジ会計の方法

ヘッジ会計の方法

原則として、繰延ヘッジ処理を採用している。なお、特例処理の要件を充たしている金利スワップについては特例処理を採用している。

ヘッジ手段とヘッジ対象

a.ヘッジ手段...金利スワップ

ヘッジ対象...借入金

b.ヘッジ手段...コモディティ・デリバティブ(スワップ)

ヘッジ対象...コモディティ(石炭)

c.ヘッジ手段...為替予約

ヘッジ対象...買掛金

ヘッジ方針

当社及び連結子会社は、借入金に係る金利変動リスク、購入石炭価格変動リスク及び為替変動リスクを軽減する目的で金利スワップ取引、コモディティ・デリバティブ(スワップ)及び為替予約を行っている。

なお、投機目的でのデリバティブ取引は一切行わない方針である。

ヘッジ有効性評価の方法

ヘッジ対象とヘッジ手段のキャッシュ・フロー変動の累計を比較し、その変動額の比率によって有効性を評価している。

なお、金利スワップのうち特例処理を採用しているものについては、特例処理の要件を充足しているとの判定をもって有効性の判定に代えている。

(チ)中間連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資からなる。

(リ)その他の中間連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

ただし、固定資産に係る控除対象外消費税等は、投資その他の資産の「その他」に計上し、5年で均等償却を行っている。

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。 )、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。 )及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。 )等を当中間連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更した。また、当中間連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する中間連結会計期間の中間連結財務諸表に反映させる方法に変更した。加えて、中間純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っている。当該表示の変更を反映させるため、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については、中間連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っている。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58 - 2項(4)、連結会計基準第44 - 5項(4)及び事業分離等会計基準第57 - 4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当中間連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用している。

これによる損益及び1株当たり情報に与える影響はない。

## (中間連結貸借対照表関係)

## 1 有形固定資産の減価償却累計額

|  | 前連結会計年度<br>(平成27年3月31日) | 当中間連結会計期間<br>(平成27年9月30日) |
|--|-------------------------|---------------------------|
|  | 87,612百万円               | 88,598百万円                 |

減価償却累計額には、減損損失累計額が含まれている。

## 2 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は次のとおりである。

|             | 前連結会計年度<br>(平成27年3月31日) | 当中間連結会計期間<br>(平成27年9月30日) |
|-------------|-------------------------|---------------------------|
| 現金及び預金      | 160百万円                  | 160百万円                    |
| たな卸資産       | 1,532                   | 1,552                     |
| 建物及び構築物     | 15,534                  | 15,062                    |
| 機械装置及び運搬具   | 4,107                   | 3,831                     |
| 土地          | 22,737                  | 21,953                    |
| その他(有形固定資産) | 5                       | 3                         |
| その他(無形固定資産) | 50                      | 46                        |
| 投資有価証券      | 5,248                   | 5,224                     |
| 計           | 49,375                  | 47,834                    |

担保付債務は次のとおりである。

|           | 前連結会計年度<br>(平成27年3月31日) | 当中間連結会計期間<br>(平成27年9月30日) |
|-----------|-------------------------|---------------------------|
| 支払手形及び買掛金 | 26百万円                   | 37百万円                     |
| 社債に係る銀行保証 | 487                     | 420                       |
| 短期借入金     | 4,177                   | 2,101                     |
| 長期借入金     | 23,079                  | 31,456                    |
| 計         | 27,769                  | 34,015                    |

## (前連結会計年度)

なお、担保に供している資産には、医療法人博愛会の金融機関借入金314百万円、麻生岡山生コンクリート(株)の金融機関借入金119百万円に対し提供している次の資産を含んでいる。

土地 95百万円

また、売掛金の一部、連結上消去されている関係会社株式(消去前金額9,725百万円)を担保に供している。

## (当中間連結会計期間)

なお、担保に供している資産には、医療法人博愛会の金融機関借入金287百万円、麻生岡山生コンクリート(株)の金融機関借入金58百万円に対し提供している次の資産を含んでいる。

土地 95百万円

また、売掛金の一部、連結上消去されている関係会社株式(消去前金額9,725百万円)を担保に供している。

## 3 保証債務

連結子会社以外の会社の銀行借入金等に対する債務保証は次のとおりである。

|           | 前連結会計年度<br>(平成27年3月31日) | 当中間連結会計期間<br>(平成27年9月30日) |
|-----------|-------------------------|---------------------------|
| 飯塚都市開発(株) | 332百万円                  | 313百万円                    |
| (有)西日本開発  | 44                      | 38                        |
| 医療法人清幸会   | 9                       | 2                         |
| 計         | 386                     | 353                       |

## 4 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

|           | 前連結会計年度<br>(平成27年3月31日) | 当中間連結会計期間<br>(平成27年9月30日) |
|-----------|-------------------------|---------------------------|
| 受取手形割引高   | 698百万円                  | 100百万円                    |
| 受取手形裏書譲渡高 | 223                     | 158                       |

## 5 手形流動債権化による譲渡残高

|                              | 前連結会計年度<br>(平成27年3月31日) | 当中間連結会計期間<br>(平成27年9月30日) |
|------------------------------|-------------------------|---------------------------|
| 手形流動債権化による譲渡残高               | 2,750百万円                | 1,795百万円                  |
| 上記の内、流動資産「その他」に計上している劣後部分の残高 | 506                     | 337                       |

## 6 診療報酬債権流動化による債権譲渡残高

|                              | 前連結会計年度<br>(平成27年3月31日) | 当中間連結会計期間<br>(平成27年9月30日) |
|------------------------------|-------------------------|---------------------------|
| 診療報酬債権流動化による譲渡残高             | 4,757百万円                | 4,934百万円                  |
| 上記の内、流動資産「その他」に計上している後払部分の残高 | 1,581                   | 2,259                     |

(中間連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要なものは次のとおりである。

|              | 前中間連結会計期間<br>(自 平成26年4月1日<br>至 平成26年9月30日) | 当中間連結会計期間<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成27年9月30日) |
|--------------|--|--|
| 運賃及び諸掛       | 951百万円                                     | 960百万円                                     |
| 販売口銭         | 67   | 54   |
| 給料・賞与        | 3,613                                      | 3,426                                      |
| 賞与引当金繰入額     | 409  | 439  |
| 退職給付費用       | 92   | 21   |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 17   | 18   |
| 減価償却費        | 306  | 274  |
| のれん償却        | 578  | 526  |

2 固定資産売却益のうち主要なものは次のとおりである。

|           | 前中間連結会計期間<br>(自 平成26年4月1日<br>至 平成26年9月30日) | 当中間連結会計期間<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成27年9月30日) |
|-----------|--|--|
| 機械装置及び運搬具 | 2百万円                                       | 3百万円                                       |
| 土地        | 207  | 5  |

3 固定資産除売却損のうち主要なものは次のとおりである。

|                | 前中間連結会計期間<br>(自 平成26年4月1日<br>至 平成26年9月30日) | 当中間連結会計期間<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成27年9月30日) |
|----------------|--|--|
| 建物及び構築物        | - 百万円                                      | 3百万円                                       |
| 機械装置及び運搬具      | -  | 10   |
| 土地             | 7  | 0  |
| その他(工具、器具及び備品) | 5  | 7  |

4 減損損失

前中間連結会計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

| 用途   | 種類    | 場所  | 金額(百万円) |
|------|-------|-----|---------|
| 遊休資産 | 建設仮勘定 | 福岡県 | 61      |
| 遊休資産 | 土地    | 福岡県 | 18      |
| 遊休資産 | 土地    | 愛知県 | 2       |
| 遊休資産 | 土地    | 京都府 | 2       |

当社グループは、主として事業毎、施設・店舗毎、遊休資産については個別物件毎に資産のグルーピングを行っている。

当社の連結子会社において、時価の著しい下落等により、上記資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(85百万円)として特別損失に計上している。

当資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、時価については固定資産税評価額を合理的に調整した価額と近隣取引事例に基づく評価額等によっている。

(中間連結株主資本等変動計算書関係)

前中間連結会計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

| 株式の種類   | 当連結会計年度期首 | 増加 | 減少 | 当中間連結会計期間末 |
|---------|-----------|----|----|------------|
| 普通株式(株) | 3,210,000 | -  | -  | 3,210,000  |

2 自己株式に関する事項

| 株式の種類   | 当連結会計年度期首 | 増加  | 減少 | 当中間連結会計期間末 |
|---------|-----------|-----|----|------------|
| 普通株式(株) | 96,527    | 780 | -  | 97,307     |

(変動事由の概要)

増加数の内訳は、次の通りである。

単元未満株式の買取りによる増加 780株

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はない。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| 決議                   | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(百万円) | 1株当たり配当<br>額(円) | 基準日        | 効力発生日      |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|
| 平成26年6月27日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 78              | 25              | 平成26年3月31日 | 平成26年6月30日 |

(2) 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間後となるもの

該当事項はない。

当中間連結会計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

1 発行済株式に関する事項

| 株式の種類   | 当連結会計年度期首 | 増加 | 減少 | 当中間連結会計期間末 |
|---------|-----------|----|----|------------|
| 普通株式（株） | 3,210,000 | -  | -  | 3,210,000  |

2 自己株式に関する事項

| 株式の種類   | 当連結会計年度期首 | 増加  | 減少 | 当中間連結会計期間末 |
|---------|-----------|-----|----|------------|
| 普通株式（株） | 127,966   | 354 | -  | 128,320    |

（変動事由の概要）

増加数の内訳は、次の通りである。

単元未満株式の買取りによる増加 354株

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はない。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| 決議                   | 株式の種類 | 配当金の総額<br>（百万円） | 1株当たり配当<br>額（円） | 基準日        | 効力発生日      |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|
| 平成27年6月26日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 77              | 25              | 平成27年3月31日 | 平成27年6月29日 |

(2) 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間後となるもの

該当事項はない。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

|                  | 前中間連結会計期間<br>(自 平成26年4月1日<br>至 平成26年9月30日) | 当中間連結会計期間<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成27年9月30日) |
|------------------|--|--|
| 現金及び預金           | 32,545百万円                                  | 34,810百万円                                  |
| 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | 995  | 929  |
| 現金及び現金同等物        | 31,550                                     | 33,880                                     |



(リース取引関係)

(借主側)

1 ファイナンス・リース取引

(1) リース資産の内容

有形固定資産

主として、医療事業における医療機器(工具、器具及び備品)及びその他事業におけるネットワーク関連設備(工具、器具及び備品)である。

(2) リース資産の減価償却の方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっており、その内容は次のとおりである。

(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間期末(期末)残高相当額  
前連結会計年度(平成27年3月31日)

(単位:百万円)

|                | 取得価額相当額 | 減価償却累計額相当額 | 期末残高相当額 |
|----------------|---------|------------|---------|
| その他(工具、器具及び備品) | 106     | 59         | 47      |

当中間連結会計期間(平成27年9月30日)

(単位:百万円)

|                | 取得価額相当額 | 減価償却累計額相当額 | 中間期末残高相当額 |
|----------------|---------|------------|-----------|
| その他(工具、器具及び備品) | 106     | 62         | 43        |

(注) 取得価額相当額は、未経過リース料中間期末(期末)残高が有形固定資産の中間期末(期末)残高等に占める割合が低いいため、支払利子込み法により算定している。

(2) 未経過リース料中間期末(期末)残高相当額

(単位:百万円)

|      | 前連結会計年度<br>(平成27年3月31日) | 当中間連結会計期間<br>(平成27年9月30日) |
|------|-------------------------|---------------------------|
| 1年以内 | 7                       | 7                         |
| 1年超  | 39                      | 36                        |
| 合計   | 47                      | 43                        |

(注) 未経過リース料中間期末(期末)残高相当額は、未経過リース料中間期末(期末)残高が有形固定資産の中間期末(期末)残高等に占める割合が低いいため、支払利子込み法により算定している。

(3) 支払リース料及び減価償却費相当額

(単位:百万円)

|          | 前中間連結会計期間<br>(自平成26年4月1日<br>至平成26年9月30日) | 当中間連結会計期間<br>(自平成27年4月1日<br>至平成27年9月30日) |
|----------|--|--|
| 支払リース料   | 4  | 3  |
| 減価償却費相当額 | 4  | 3  |

(4) 減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(貸主側)

1 ファイナンス・リース取引

(1) リース投資資産の内訳

投資その他の資産

(単位：百万円)

|          | 前連結会計年度<br>(平成27年3月31日) | 当中間連結会計期間<br>(平成27年9月30日) |
|----------|-------------------------|---------------------------|
| リース料債権部分 | 15,867                  | 16,102                    |
| 見積残存価額部分 | -                       | -                         |
| 受取利息相当額  | 11,615                  | 11,763                    |
| リース投資資産  | 4,251                   | 4,338                     |

(2) リース債権及びリース投資資産に係るリース料債権部分の連結会計年度末日後の回収予定額

投資その他の資産

前連結会計年度(平成27年3月31日)

(単位：百万円)

|         | 1年以内 | 1年超<br>2年以内 | 2年超<br>3年以内 | 3年超<br>4年以内 | 4年超<br>5年以内 | 5年超   |
|---------|------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------|
| リース投資資産 | 5    | 5           | 5           | 6           | 6           | 4,222 |

当中間連結会計年度(平成27年9月30日)

(単位：百万円)

|         | 1年以内 | 1年超<br>2年以内 | 2年超<br>3年以内 | 3年超<br>4年以内 | 4年超<br>5年以内 | 5年超   |
|---------|------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------|
| リース投資資産 | 5    | 5           | 6           | 6           | 6           | 4,307 |

2 オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リースのうち解約不能のものに係る未経過リース料

(単位：百万円)

|      | 前連結会計年度<br>(平成27年3月31日) | 当中間連結会計期間<br>(平成27年9月30日) |
|------|-------------------------|---------------------------|
| 1年以内 | 195                     | 220                       |
| 1年超  | 7,619                   | 7,667                     |
| 合計   | 7,815                   | 7,888                     |

(金融商品関係)

金融商品の時価等に関する事項

中間連結貸借対照表計上額(連結貸借対照表計上額)、時価及びこれらの差額については、次のとおりである。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれていない(注)2参照)。

前連結会計年度(平成27年3月31日)

(単位:百万円)

|                  | 連結貸借対照表計上額 | 時価      | 差額    |
|------------------|------------|---------|-------|
| (1) 現金及び預金       | 28,332     | 28,332  | -     |
| (2) 受取手形及び売掛金    | 28,076     | 28,076  | -     |
| (3) 投資有価証券       |            |         |       |
| その他有価証券          | 11,844     | 11,844  | -     |
| 資産計              | 68,253     | 68,253  | -     |
| (1) 支払手形及び買掛金    | 20,427     | 20,427  | -     |
| (2) 短期借入金        | 16,627     | 16,627  | -     |
| (3) 長期借入金        | 62,571     | 63,606  | 1,034 |
| 負債計              | 99,625     | 100,660 | 1,034 |
| デリバティブ取引( )      |            |         |       |
| ヘッジ会計が適用されていないもの | (3)        | (3)     | -     |
| ヘッジ会計が適用されているもの  | (34)       | (34)    | -     |
| デリバティブ取引計        | (38)       | (38)    | -     |

( ) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については( )で示している。

当中間連結会計期間(平成27年9月30日)

(単位:百万円)

|                  | 中間連結貸借対照表計上額 | 時価      | 差額    |
|------------------|--------------|---------|-------|
| (1) 現金及び預金       | 34,810       | 34,810  | -     |
| (2) 受取手形及び売掛金    | 21,111       | 21,111  | -     |
| (3) 投資有価証券       |              |         |       |
| その他有価証券          | 11,875       | 11,875  | -     |
| 資産計              | 67,796       | 67,796  | -     |
| (1) 支払手形及び買掛金    | 17,373       | 17,373  | -     |
| (2) 短期借入金        | 15,244       | 15,244  | -     |
| (3) 長期借入金        | 68,591       | 70,199  | 1,607 |
| 負債計              | 101,210      | 102,818 | 1,607 |
| デリバティブ取引( )      |              |         |       |
| ヘッジ会計が適用されていないもの | (0)          | (0)     | -     |
| ヘッジ会計が適用されているもの  | (31)         | (31)    | -     |
| デリバティブ取引計        | (32)         | (32)    | -     |

( ) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については( )で示している。

(注) 1 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

資 産

(1) 現金及び預金、並びに(2) 受取手形及び売掛金

これらは短期で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によってい

る。

(3) 投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっており、債券は取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっている。

負 債

(1) 支払手形及び買掛金、並びに(2) 短期借入金

これらは短期で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によってい

る。

(3) 長期借入金

長期借入金の時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算出する方法によっている。変動金利による長期借入金は金利スワップの特例処理の対象とされており、当該金利スワップと一体として処理された元利金の合計額を、同様の借入を行った場合に適用される合理的に見積もられる利率で割り引いて算定する方法によっている。なお、1年内返済予定の長期借入金は長期借入金に含めている。

デリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引については「デリバティブ取引関係」注記を参照。

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引については、取引先から提示された価格等によってい

る。

2 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：百万円)

| 区分      | 前連結会計年度<br>(平成27年3月31日) | 当中間連結会計期間<br>(平成27年9月30日) |
|---------|-------------------------|---------------------------|
| 非上場株式   | 550                     | 562                       |
| 匿名組合出資金 | 58                      | 76                        |

上記については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(3) 投資有価証券 その他有価証券」には含めていない。

(有価証券関係)

1 その他有価証券

前連結会計年度(平成27年3月31日)

(単位:百万円)

|                            | 種類      | 連結貸借対照表<br>計上額 | 取得原価  | 差額    |
|----------------------------|---------|----------------|-------|-------|
| 連結貸借対照表計上額<br>が取得原価を超えるもの  | (1) 株式  | 1,156          | 799   | 356   |
|                            | (2) 債券  | 2,254          | 1,955 | 298   |
|                            | (3) その他 | 7,459          | 5,981 | 1,477 |
|                            | 小計      | 10,869         | 8,736 | 2,133 |
| 連結貸借対照表計上額<br>が取得原価を超えないもの | (1) 株式  | 843            | 900   | 56    |
|                            | (2) 債券  | 131            | 143   | 11    |
|                            | (3) その他 | -              | -     | -     |
|                            | 小計      | 974            | 1,043 | 68    |
| 合計                         |         | 11,844         | 9,779 | 2,065 |

(注) 表中の「取得原価」は減損処理後の帳簿価額である。

当中間連結会計期間(平成27年9月30日)

(単位:百万円)

|                              | 種類      | 中間連結貸借対照表<br>計上額 | 取得原価  | 差額    |
|------------------------------|---------|------------------|-------|-------|
| 中間連結貸借対照表計<br>上額が取得原価を超えるもの  | (1) 株式  | 1,344            | 966   | 378   |
|                              | (2) 債券  | 5,459            | 4,529 | 930   |
|                              | (3) その他 | 3,391            | 2,649 | 741   |
|                              | 小計      | 10,195           | 8,145 | 2,049 |
| 中間連結貸借対照表計<br>上額が取得原価を超えないもの | (1) 株式  | 1,006            | 1,070 | 64    |
|                              | (2) 債券  | -                | -     | -     |
|                              | (3) その他 | 673              | 731   | 57    |
|                              | 小計      | 1,680            | 1,801 | 121   |
| 合計                           |         | 11,875           | 9,947 | 1,927 |

(注) 表中の「取得原価」は減損処理後の帳簿価額である。

(デリバティブ取引関係)

前連結会計年度(平成27年3月31日)

(単位:百万円)

|           | 種類                          | 契約額等  | 契約額のうち<br>1年超 | 時価 | 評価損益 |
|-----------|-----------------------------|-------|---------------|----|------|
| 市場取引以外の取引 | 通貨スワップ取引<br>支払日本円<br>・受取豪ドル | 627   | 418           | 19 | 19   |
|           | 外国為替証拠金取引<br>買建<br>米ドル      | 1,197 | -             | 4  | 4    |
|           | ポンド                         | 561   | -             | 27 | 27   |
| 合計        |                             | 2,386 | 418           | 3  | 3    |

(注)1 時価の算定方法

通貨スワップ取引については、取引先金融機関等から提示された価格等によって算定している。

外国為替証拠金取引については、当連結会計年度の直物為替相場によって算定している。

2 ヘッジ会計が適用されていないもののみ開示している。

当中間連結会計期間(平成27年9月30日)

(単位:百万円)

|           | 種類                | 契約額等 | 契約額のうち<br>1年超 | 時価 | 評価損益 |
|-----------|-------------------|------|---------------|----|------|
| 市場取引以外の取引 | 為替予約<br>買建<br>米ドル | 864  | 864           | 0  | 0    |
| 合計        |                   | 864  | 864           | 0  | 0    |

(注)1 時価の算定方法

取引先金融機関等から提示された価格等によって算定している。

2 ヘッジ会計が適用されていないもののみ開示している。

(企業結合等関係)

重要性が乏しいため、記載を省略している。

(資産除去債務関係)

重要性が乏しいため、記載を省略している。



(賃貸等不動産関係)

前連結会計年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

賃貸等不動産の連結貸借対照表計上額、期中増減額及び時価は以下のとおりである。

(単位:百万円)

| 連結貸借対照表計上額 |       |        | 期末時価   |
|------------|-------|--------|--------|
| 期首残高       | 期中増減額 | 期末残高   |        |
| 17,479     | 241   | 17,237 | 18,384 |

(注) 1 連結貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除した金額である。

2 主な変動

増加は、賃貸の開始 205百万円

減少は、土地の売却 401百万円

3 時価の算定方法

主として「不動産鑑定評価基準」に基づいて自社で算定した金額(指標等を用いて調整を行ったものを含む。)である。

当中間連結会計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

賃貸等不動産の中間連結貸借対照表計上額、期中増減額及び時価は以下のとおりである。

(単位:百万円)

| 中間連結貸借対照表計上額 |       |        | 中間期末時価 |
|--------------|-------|--------|--------|
| 期首残高         | 期中増減額 | 中間期末残高 |        |
| 17,237       | 39    | 17,198 | 18,364 |

(注) 1 中間連結貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除した金額である。

2 主な変動

減少は、減価償却 92百万円

3 時価の算定方法

主として「不動産鑑定評価基準」に基づいて自社で算定した金額(指標等を用いて調整を行ったものを含む。)である。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社及び当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものである。

当社は、グループ経営委員会を設置しておりグループ全体の戦略的な方向性を検討し、事業活動を展開している。

従って、当社は、各会社や各事業部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「セメント事業」、「医療関連事業」、「商社・流通事業」、「人材・教育事業」、「情報・ソフト事業」及び「その他事業」の6つを報告セグメントとしている。

「セメント事業」は、各種セメント・生コンクリート・コンクリート二次製品等の製造販売等をしている。「医療関連事業」は、医療に関連した事業等をしている。「商社・流通事業」は、建設資材等卸販売・小売業等をしている。「人材・教育事業」は、人材派遣・介護サービス等をしている。「情報・ソフト事業」は、情報処理・情報コンテンツの販売等をしている。「その他事業」は、不動産の賃貸及び販売・ゴルフ場経営等をしている。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一である。

棚卸資産の評価については、収益性の低下に基づく簿価切り下げ後の価額で評価している。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値である。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいている。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失その他の金額に関する情報  
前中間連結会計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

(単位:百万円)

|                           | セメント<br>事業 | 医療関連<br>事業 | 商社・流<br>通事業 | 人材・教<br>育事業 | 情報・ソ<br>フト事業 | その他事<br>業 | 計      | 調整額<br>(注)1 | 中間連結<br>財務諸表<br>計上額 |
|---------------------------|------------|------------|-------------|-------------|--------------|-----------|--------|-------------|---------------------|
| 売上高                       |            |            |             |             |              |           |        |             |                     |
| 外部顧客に対す<br>る売上高           | 17,613     | 16,756     | 11,026      | 8,192       | 12,284       | 4,540     | 70,414 | -           | 70,414              |
| セグメント間の<br>内部売上高又は<br>振替高 | 139        | 8          | 1,319       | 43          | 331          | 308       | 2,150  | 2,150       | -                   |
| 計                         | 17,752     | 16,765     | 12,345      | 8,235       | 12,616       | 4,849     | 72,564 | 2,150       | 70,414              |
| セグメント利益又<br>は損失( )        | 1,230      | 352        | 187         | 329         | 3,379        | 446       | 5,221  | 10          | 5,210               |

(注)1 セグメント利益又は損失( )の調整額 10百万円には、セグメント間取引消去 13百万円、固定資産未実現損益の調整額2百万円等が含まれている。

2 セグメント利益又は損失( )は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

3 当グループでは、資産を事業セグメント別に配分していないことから、セグメント資産の開示を省略している。

当中間連結会計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(単位:百万円)

|                           | セメント<br>事業 | 医療関連<br>事業 | 商社・流<br>通事業 | 人材・教<br>育事業 | 情報・ソ<br>フト事業 | その他事<br>業 | 計      | 調整額<br>(注)1 | 中間連結<br>財務諸表<br>計上額 |
|---------------------------|------------|------------|-------------|-------------|--------------|-----------|--------|-------------|---------------------|
| 売上高                       |            |            |             |             |              |           |        |             |                     |
| 外部顧客に対す<br>る売上高           | 17,313     | 17,699     | 11,183      | 8,552       | 11,862       | 4,042     | 70,652 | -           | 70,652              |
| セグメント間の<br>内部売上高又は<br>振替高 | 63         | 7          | 1,180       | 42          | 317          | 856       | 2,466  | 2,466       | -                   |
| 計                         | 17,376     | 17,706     | 12,363      | 8,594       | 12,179       | 4,898     | 73,119 | 2,466       | 70,652              |
| セグメント利益又<br>は損失( )        | 873        | 222        | 248         | 207         | 3,449        | 448       | 5,003  | 18          | 4,985               |

(注)1 セグメント利益又は損失( )の調整額 18百万円には、セグメント間取引消去 19百万円等が含まれている。

2 セグメント利益又は損失( )は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

3 当グループでは、資産を事業セグメント別に配分していないことから、セグメント資産の開示を省略している。

【関連情報】

前中間連結会計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、製品及びサービスに基づいてセグメントを区分しているため、記載を省略している。

2 地域ごとの情報

本邦の外部顧客への売上高に区分した金額が中間連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、地域ごとの売上高の記載を省略している。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、中間連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略している。

当中間連結会計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、製品及びサービスに基づいてセグメントを区分しているため、記載を省略している。

2 地域ごとの情報

本邦の外部顧客への売上高に区分した金額が中間連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、地域ごとの売上高の記載を省略している。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、中間連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略している。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前中間連結会計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

（単位：百万円）

|      | セメント事業 | 医療関連事業 | 商社・流通事業 | 人材・教育事業 | 情報・ソフト事業 | その他 | 合計 |
|------|--------|--------|---------|---------|----------|-----|----|
| 減損損失 | -      | -      | 23      | -       | -        | 61  | 85 |

当中間連結会計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

該当事項はない。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前中間連結会計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

（単位：百万円）

|         | セメント事業 | 医療関連事業 | 商社・流通事業 | 人材・教育事業 | 情報・ソフト事業 | その他事業 | 合計    |
|---------|--------|--------|---------|---------|----------|-------|-------|
| 当中間期償却額 | 328    | 40     | 2       | 19      | 181      | 5     | 578   |
| 当中間期末残高 | 4,745  | 58     | 4       | 37      | 1,147    | 54    | 6,047 |

当中間連結会計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

（単位：百万円）

|         | セメント事業 | 医療関連事業 | 商社・流通事業 | 人材・教育事業 | 情報・ソフト事業 | その他事業 | 合計    |
|---------|--------|--------|---------|---------|----------|-------|-------|
| 当中間期償却額 | 316    | 10     | 1       | 17      | 181      | -     | 526   |
| 当中間期末残高 | 4,101  | 13     | -       | -       | 785      | -     | 4,900 |

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はない。

( 1株当たり情報 )

1株当たり純資産額及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

| 項目                            | 前連結会計年度<br>(平成27年3月31日) | 当中間連結会計期間<br>(平成27年9月30日) |
|-------------------------------|-------------------------|---------------------------|
| 1株当たり純資産額                     | 7,272.23円               | 7,882.99円                 |
| (算定上の基礎)                      |                         |                           |
| 純資産の部の合計額 (百万円)               | 31,699                  | 34,743                    |
| 普通株式に係る純資産額 (百万円)             | 22,413                  | 24,292                    |
| 差額の主な内訳                       |                         |                           |
| 非支配株主持分 (百万円)                 | 9,286                   | 10,450                    |
| 普通株式の発行済株式数 (千株)              | 3,210                   | 3,210                     |
| 普通株式の自己株式数 (千株)               | 127                     | 128                       |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数 (千株) | 3,082                   | 3,081                     |

1株当たり中間純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

| 項目                             | 前中間連結会計期間<br>(自平成26年4月1日<br>至平成26年9月30日) | 当中間連結会計期間<br>(自平成27年4月1日<br>至平成27年9月30日) |
|--------------------------------|--|--|
| 1株当たり中間純利益金額                   | 571.21円                                  | 603.24円                                  |
| (算定上の基礎)                       |  |  |
| 親会社株主に帰属する中間純利益金額 (百万円)        | 1,778                                    | 1,859                                    |
| 普通株主に帰属しない金額 (百万円)             | -  | -  |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する中間純利益金額 (百万円) | 1,778                                    | 1,859                                    |
| 普通株式の期中平均株式数 (千株)              | 3,113                                    | 3,081                                    |

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

(重要な後発事象)  
該当事項はない。

( 2 ) 【その他】

該当事項はない。



## 2【中間財務諸表等】

## (1)【中間財務諸表】

## 【中間貸借対照表】

(単位：百万円)

|                 | 前事業年度<br>(平成27年3月31日) | 当中間会計期間<br>(平成27年9月30日) |
|-----------------|-----------------------|-------------------------|
| <b>資産の部</b>     |                       |                         |
| <b>流動資産</b>     |                       |                         |
| 現金及び預金          | 1 7,396               | 1 10,647                |
| 受取手形            | -                     | 4                       |
| 売掛金             | 1,093                 | 792                     |
| たな卸資産           | 1 3,439               | 1 3,396                 |
| その他             | 3 7,024               | 3 8,160                 |
| 貸倒引当金           | 123                   | 131                     |
| 流動資産合計          | 18,831                | 22,871                  |
| <b>固定資産</b>     |                       |                         |
| <b>有形固定資産</b>   |                       |                         |
| 建物（純額）          | 1 12,352              | 1 12,089                |
| 土地              | 1 8,195               | 1 8,198                 |
| その他（純額）         | 3,211                 | 3,172                   |
| 有形固定資産合計        | 23,759                | 23,460                  |
| 無形固定資産          | 513                   | 428                     |
| <b>投資その他の資産</b> |                       |                         |
| 関係会社株式          | 1 24,708              | 1 24,713                |
| 投資有価証券          | 1 8,296               | 1 8,271                 |
| リース債権           | 670                   | 665                     |
| その他             | 4,687                 | 4,463                   |
| 貸倒引当金           | 520                   | 264                     |
| 投資その他の資産合計      | 37,843                | 37,850                  |
| 固定資産合計          | 62,116                | 61,739                  |
| 資産合計            | 80,948                | 84,610                  |
| <b>負債の部</b>     |                       |                         |
| <b>流動負債</b>     |                       |                         |
| 買掛金             | 4,453                 | 4,658                   |
| 短期借入金           | 1 21,284              | 1 17,772                |
| リース債務           | 3                     | -                       |
| 未払法人税等          | 111                   | 80                      |
| 賞与引当金           | 1,474                 | 1,590                   |
| その他             | 2,639                 | 4 2,664                 |
| 流動負債合計          | 29,967                | 26,767                  |
| <b>固定負債</b>     |                       |                         |
| 長期借入金           | 1 34,922              | 1 41,621                |
| 退職給付引当金         | 4,951                 | 5,108                   |
| 役員退職慰労引当金       | 417                   | 428                     |

(単位：百万円)

|              | 前事業年度<br>(平成27年3月31日) | 当中間会計期間<br>(平成27年9月30日) |
|--------------|-----------------------|-------------------------|
| 関係会社事業損失引当金  | 480                   | 498                     |
| その他          | 204                   | 201                     |
| 固定負債合計       | 40,975                | 47,857                  |
| 負債合計         | 70,942                | 74,624                  |
| 純資産の部        |                       |                         |
| 株主資本         |                       |                         |
| 資本金          | 3,580                 | 3,580                   |
| 資本剰余金        |                       |                         |
| 資本準備金        | 2,499                 | 2,499                   |
| その他資本剰余金     | 119                   | 119                     |
| 資本剰余金合計      | 2,619                 | 2,619                   |
| 利益剰余金        |                       |                         |
| 利益準備金        | 182                   | 182                     |
| その他利益剰余金     |                       |                         |
| 特別償却準備金      | 91                    | 91                      |
| 固定資産圧縮積立金    | 654                   | 654                     |
| 別途積立金        | 190                   | 190                     |
| 繰越利益剰余金      | 2,096                 | 2,190                   |
| 利益剰余金合計      | 3,214                 | 3,307                   |
| 自己株式         | 315                   | 317                     |
| 株主資本合計       | 9,097                 | 9,189                   |
| 評価・換算差額等     |                       |                         |
| その他有価証券評価差額金 | 907                   | 797                     |
| 評価・換算差額等合計   | 907                   | 797                     |
| 純資産合計        | 10,005                | 9,986                   |
| 負債純資産合計      | 80,948                | 84,610                  |

【中間損益計算書】

(単位：百万円)

|              | 前中間会計期間<br>(自 平成26年4月1日<br>至 平成26年9月30日) | 当中間会計期間<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成27年9月30日) |
|--------------|--|--|
| 売上高          | 17,630                                   | 18,644                                   |
| 売上原価         | 17,089                                   | 17,979                                   |
| 売上総利益        | 541                                      | 664                                      |
| 販売費及び一般管理費   | 717                                      | 737                                      |
| 営業損失( )      | 175                                      | 72                                       |
| 営業外収益        | 1,672                                    | 1,690                                    |
| 営業外費用        | 2,476                                    | 2,507                                    |
| 経常利益         | 20                                       | 109                                      |
| 特別利益         | 3,140                                    | 3,62                                     |
| 特別損失         | 4,8                                      | 4,3                                      |
| 税引前中間純利益     | 152                                      | 167                                      |
| 法人税、住民税及び事業税 | 138                                      | 88                                       |
| 法人税等調整額      | 174                                      | 90                                       |
| 法人税等合計       | 36                                       | 2  |
| 中間純利益        | 188                                      | 170                                      |

【中間株主資本等変動計算書】

前中間会計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

(単位：百万円)

|                       | 株主資本  |       |          |         |       |          |           |       |         |         |
|-----------------------|-------|-------|----------|---------|-------|----------|-----------|-------|---------|---------|
|                       | 資本金   | 資本剰余金 |          |         | 利益剰余金 |          |           |       |         |         |
|                       |       | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 | 利益準備金 | その他利益剰余金 |           |       |         | 利益剰余金合計 |
|                       |       |       |          |         |       | 特別償却準備金  | 固定資産圧縮積立金 | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 |         |
| 当期首残高                 | 3,580 | 2,499 | 119      | 2,619   | 182   | 102      | 643       | 190   | 1,870   | 2,989   |
| 会計方針の変更による累積的影響額      |       |       |          |         |       |          |           |       | 17      | 17      |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高     | 3,580 | 2,499 | 119      | 2,619   | 182   | 102      | 643       | 190   | 1,853   | 2,971   |
| 当中間期変動額               |       |       |          |         |       |          |           |       |         |         |
| 剰余金の配当                |       |       |          |         |       |          |           |       | 78      | 78      |
| 中間純利益                 |       |       |          |         |       |          |           |       | 188     | 188     |
| 自己株式の取得               |       |       |          |         |       |          |           |       |         |         |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額） |       |       |          |         |       |          |           |       |         |         |
| 当中間期変動額合計             | -     | -     | -        | -       | -     | -        | -         | -     | 109     | 109     |
| 当中間期末残高               | 3,580 | 2,499 | 119      | 2,619   | 182   | 102      | 643       | 190   | 1,962   | 3,081   |

|                       | 株主資本 |        | 評価・換算差額等     |            | 純資産合計 |
|-----------------------|------|--------|--------------|------------|-------|
|                       | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | 評価・換算差額等合計 |       |
| 当期首残高                 | 268  | 8,920  | 732          | 732        | 9,652 |
| 会計方針の変更による累積的影響額      |      | 17     |              |            | 17    |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高     | 268  | 8,902  | 732          | 732        | 9,635 |
| 当中間期変動額               |      |        |              |            |       |
| 剰余金の配当                |      | 78     |              |            | 78    |
| 中間純利益                 |      | 188    |              |            | 188   |
| 自己株式の取得               | 3    | 3      |              |            | 3     |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額） |      |        | 74           | 74         | 74    |
| 当中間期変動額合計             | 3    | 106    | 74           | 74         | 181   |
| 当中間期末残高               | 271  | 9,009  | 806          | 806        | 9,816 |

当中間会計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

(単位：百万円)

|                       | 株主資本  |       |          |         |       |          |           |       |         |         |
|-----------------------|-------|-------|----------|---------|-------|----------|-----------|-------|---------|---------|
|                       | 資本金   | 資本剰余金 |          |         | 利益剰余金 |          |           |       |         |         |
|                       |       | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 | 利益準備金 | その他利益剰余金 |           |       |         | 利益剰余金合計 |
|                       |       |       |          |         |       | 特別償却準備金  | 固定資産圧縮積立金 | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 |         |
| 当期首残高                 | 3,580 | 2,499 | 119      | 2,619   | 182   | 91       | 654       | 190   | 2,096   | 3,214   |
| 当中間期変動額               |       |       |          |         |       |          |           |       |         |         |
| 剰余金の配当                |       |       |          |         |       |          |           |       | 77      | 77      |
| 中間純利益                 |       |       |          |         |       |          |           |       | 170     | 170     |
| 自己株式の取得               |       |       |          |         |       |          |           |       |         |         |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額） |       |       |          |         |       |          |           |       |         |         |
| 当中間期変動額合計             | -     | -     | -        | -       | -     | -        | -         | -     | 93      | 93      |
| 当中間期末残高               | 3,580 | 2,499 | 119      | 2,619   | 182   | 91       | 654       | 190   | 2,190   | 3,307   |

|                       | 株主資本 |        | 評価・換算差額等     |            | 純資産合計  |
|-----------------------|------|--------|--------------|------------|--------|
|                       | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | 評価・換算差額等合計 |        |
| 当期首残高                 | 315  | 9,097  | 907          | 907        | 10,005 |
| 当中間期変動額               |      |        |              |            |        |
| 剰余金の配当                |      | 77     |              |            | 77     |
| 中間純利益                 |      | 170    |              |            | 170    |
| 自己株式の取得               | 1    | 1      |              |            | 1      |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額） |      |        | 110          | 110        | 110    |
| 当中間期変動額合計             | 1    | 91     | 110          | 110        | 18     |
| 当中間期末残高               | 317  | 9,189  | 797          | 797        | 9,986  |

【注記事項】

(重要な会計方針)

1 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券

子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法

その他有価証券

時価のあるもの

中間会計期間末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却

原価は移動平均法により算定）

時価のないもの

移動平均法による原価法

(2) デリバティブ

時価法

(3) たな卸資産

販売用不動産

個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）

商品及び製品

最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）及  
び売価還元法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）

仕掛品

個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）

貯蔵品

移動平均法に基づく原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりである。

建物及び構築物 2～50年

機械及び装置並びに車輛運搬具 2～20年

(2) 無形固定資産（鉱業権、リース資産を除く）

定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいている。

(3) 鉱業権

生産高比例法

(4) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零として算定する定額法によっている。

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前の  
リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

### 3 引当金の計上基準

#### (1) 貸倒引当金

売掛金、貸付金等の債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。

#### (2) 賞与引当金

従業員賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当中間会計期間の負担額を計上している。

#### (3) 退職給付引当金

従業員退職金の支給に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上している。

##### 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっている。

##### 数理計算上の差異の費用処理方法

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から損益処理している。

#### (4) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく中間期末要支給額を計上している。

#### (5) 関係会社事業損失引当金

関係会社の事業の損失に備えるため、関係会社の事業計画及び資産内容等を勘案して必要見込額を計上している。

### 4 外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、中間決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理している。

### 5 ヘッジ会計の方法

#### (1) ヘッジ会計の方法

原則として繰延ヘッジ処理によっている。なお、特例処理の要件を充たしている金利スワップについては特例処理を採用している。

#### (2) ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段...金利スワップ

ヘッジ対象...借入金

#### (3) ヘッジ方針

当社は、借入金に係る金利変動のリスクを軽減する目的で、金利スワップ取引を行っている。

なお、投機目的でのデリバティブ取引は一切行わない方針である。

#### (4) ヘッジ有効性評価の方法

ヘッジ対象とヘッジ手段のキャッシュ・フロー変動の累計を比較し、その変動額の比率によって有効性を評価している。

なお、金利スワップのうち特例処理を採用しているものについては、特例処理の要件を充足しているとの判定をもって有効性の判定に代えている。

### 6 その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項

#### (1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

ただし、固定資産に係る控除対象外消費税等は、投資その他の資産の「その他」に含めて計上し、5年間で均等償却を行っている。

#### (2) 退職給付に係る会計処理の方法

退職給付に係る未認識数理計算上の差異の会計処理の方法は、中間連結財務諸表におけるこれらの会計処理の方法と異なっている。

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当中間会計期間から適用し、取得関連費用を発生した事業年度の費用として計上する方法に変更した。また、当中間会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する中間会計期間の中間財務諸表に反映させる方法に変更した。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58 - 2項(4)及び事業分離等会計基準第57 - 4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当中間会計期間の期首時点から将来にわたって適用している。

これによる損益及び1株当たり情報に与える影響はない。



## (中間貸借対照表関係)

## 1 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は次のとおりである。

|        | 前事業年度<br>(平成27年3月31日) | 当中間会計期間<br>(平成27年9月30日) |
|--------|-----------------------|-------------------------|
| 現金及び預金 | 94百万円                 | 94百万円                   |
| たな卸資産  | 1,532                 | 1,552                   |
| 建物     | 10,902                | 10,429                  |
| 土地     | 7,504                 | 6,683                   |
| 関係会社株式 | 6,195                 | 6,195                   |
| 投資有価証券 | 1,234                 | 1,210                   |
| 合計     | 27,463                | 26,165                  |

担保付債務は次のとおりである。

|         | 前事業年度<br>(平成27年3月31日) | 当中間会計期間<br>(平成27年9月30日) |
|---------|-----------------------|-------------------------|
| 短期借入金   | 3,765百万円              | 1,850百万円                |
| 長期借入金   | 15,317                | 24,320                  |
| 合計      | 19,082                | 26,170                  |
| 第三者担保提供 | 3,465                 | 3,318                   |

## 2 保証債務

銀行借入金等に対する保証債務は次のとおりである。

|                | 前事業年度<br>(平成27年3月31日) | 当中間会計期間<br>(平成27年9月30日) |
|----------------|-----------------------|-------------------------|
| 麻生セメント(株)      | 5,740百万円              | 5,330百万円                |
| (株)麻生地所        | 534                   | 430                     |
| (株)アイエムケイ      | 845                   | 816                     |
| 麻生鉱山(株)        | 154                   | 103                     |
| 飯塚都市開発(株)      | 332                   | 313                     |
| 麻生芳雄商事(株)      | 190                   | 190                     |
| 麻生メディカルサービス(株) | 84                    | 78                      |
| (有)西日本開発       | 44                    | 38                      |
| FASエコエナジー(株)   | 2,075                 | 2,003                   |
| 医療法人清幸会        | 9                     | 2                       |
| 合計             | 10,011                | 9,304                   |

## 3 診療報酬債権流動化による譲渡残高

|                              | 前事業年度<br>(平成27年3月31日) | 当中間会計期間<br>(平成27年9月30日) |
|------------------------------|-----------------------|-------------------------|
| 診療報酬債権流動化による譲渡残高             | 4,757百万円              | 4,934百万円                |
| 上記の内、流動資産「その他」に計上している後払部分の残高 | 1,581                 | 2,259                   |

## 4 消費税等の取扱い

仮払消費税等及び預り消費税等は相殺のうえ、流動負債の「その他」に含めて表示している。

(中間損益計算書関係)

1 営業外収益のうち主要なものは次のとおりである。

|       | 前中間会計期間<br>(自 平成26年4月1日<br>至 平成26年9月30日) | 当中間会計期間<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成27年9月30日) |
|-------|--|--|
| 受取利息  | 95百万円                                    | 216百万円                                   |
| 受取配当金 | 346                                      | 318                                      |

2 営業外費用のうち主要なものは次のとおりである。

|      | 前中間会計期間<br>(自 平成26年4月1日<br>至 平成26年9月30日) | 当中間会計期間<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成27年9月30日) |
|------|--|--|
| 支払利息 | 414百万円                                   | 404百万円                                   |

3 特別利益のうち主要なものは次のとおりである。

|           | 前中間会計期間<br>(自 平成26年4月1日<br>至 平成26年9月30日) | 当中間会計期間<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成27年9月30日) |
|-----------|--|--|
| 投資有価証券売却益 | 140百万円                                   | 59百万円                                    |

4 特別損失のうち主要なものは次のとおりである。

|           | 前中間会計期間<br>(自 平成26年4月1日<br>至 平成26年9月30日) | 当中間会計期間<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成27年9月30日) |
|-----------|--|--|
| 固定資産除売却損  | 0百万円                                     | 2百万円                                     |
| 投資有価証券売却損 | 2  | -  |
| 投資有価証券評価損 | 0  | 1  |
| 関係会社株式評価損 | 6  | -  |

5 減価償却実施額

|        | 前中間会計期間<br>(自 平成26年4月1日<br>至 平成26年9月30日) | 当中間会計期間<br>(自 平成27年4月1日<br>至 平成27年9月30日) |
|--------|--|--|
| 有形固定資産 | 807百万円                                   | 814百万円                                   |
| 無形固定資産 | 95                                       | 95                                       |

(有価証券関係)  
子会社株式及び関連会社株式  
前事業年度(平成27年3月31日)

(単位:百万円)

|       | 貸借対照表計上額 | 時価  | 差額  |
|-------|----------|-----|-----|
| 子会社株式 | 59       | 539 | 480 |

当中間会計期間(平成27年9月30日)

(単位:百万円)

|       | 中間貸借対照表計上額 | 時価  | 差額  |
|-------|------------|-----|-----|
| 子会社株式 | 59         | 416 | 356 |

(注) 時価を把握することが極めて困難と認められる子会社株式及び関連会社株式

(単位:百万円)

|           | 前事業年度<br>(平成27年3月31日) | 当中間会計期間<br>(平成27年9月30日) |
|-----------|-----------------------|-------------------------|
| (1)子会社株式  | 24,427                | 24,427                  |
| (2)関連会社株式 | 222                   | 227                     |
| 計         | 24,649                | 24,654                  |

上記については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるものである。

(重要な後発事象)  
該当事項はない。

( 2 ) 【その他】  
該当事項なし。

## 第6【提出会社の参考情報】

当中間会計期間の開始日から半期報告書提出日までの間に、次の書類を提出している。

(1) 有価証券報告書及びその添付書類

事業年度 第54期（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）平成27年6月26日福岡財務支局長に提出。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし。

## 独立監査人の中間監査報告書

平成27年12月25日

株式会社麻生

取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 佐藤 宏 文

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 吉村 祐 二

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている株式会社麻生の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の中間連結会計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)に係る中間連結財務諸表、すなわち、中間連結貸借対照表、中間連結損益計算書、中間連結包括利益計算書、中間連結株主資本等変動計算書、中間連結キャッシュ・フロー計算書、中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項及びその他の注記について中間監査を行った。

#### 中間連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間連結財務諸表の作成基準に準拠して中間連結財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間連結財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間連結財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間連結財務諸表には全体として中間連結財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間連結財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間連結財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間連結財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間連結財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 中間監査意見

当監査法人は、上記の中間連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社麻生及び連結子会社の平成27年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する中間連結会計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)の経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 1 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
- 2 XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。



## 独立監査人の中間監査報告書

平成27年12月25日

株式会社麻生

取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 佐藤 宏 文

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 吉村 祐 二

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている株式会社麻生の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの第55期事業年度の中間会計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

#### 中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社麻生の平成27年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 1 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
- 2 XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。